

平成29年度 事業報告

< 法人全体の活動報告 >

1. 理事会、評議員会の開催

平成29年度の理事会、評議員会を以下のように開催しました。

- 5月26日 ― 第186回理事会 於：南海福祉専門学校
平成28年度事業報告、平成28年度決算案審議、
理事・監事・会計監査人選任、評議員及び役員報酬規程、
定時評議員会開催及びその他議案
- 6月16日 ― 第100回評議員会 於：日本綿業会館
平成28年度決算案審議、理事・監事・会計監査人選任、
評議員及び役員報酬規程、評議員及び役員報酬額
- 6月16日 ― 臨時理事会 於：日本綿業会館（上記評議員会終了後）
理事長互選、役員報酬額、及びその他議案
- 11月7日 ― 第187回理事会 於：法人本部会議室
南海福祉専門学校及びブルーム北加賀屋関連議案、
法人設立50周年記念行事、
法人・施設福利厚生、同 規程規則一部改正等
- 3月15日 ― 第188回理事会 於：法人本部会議室
平成30年度事業計画、平成29年度補正予算、平成30年度予算案、
南海福祉専門学校関連議案、保育事業部園則兼運営規程、
南海愛児園及び高齢者施設事業部関連議案、法人及び各施設規程規則改正

2. 法人幹部会の開催

法人理事及び幹部職員による月例会議を以下のように開催しました。

参加者：理事長、事業部長、法人管理部部長、総務主任、および各施設 施設長 計12名

開催場所：南海福祉専門学校 2階 福祉研究所

議題：事業部および各施設の前月の月例報告とともに、主に以下に記載の法人・各事業部・
及び各施設の課題などについて協議を行いました。

- 4月度 ― 4月18日
新年度の各事業部・各施設の重要課題3点、決算処理に関わる事務処理
- 5月度 ― 5月22日
平成28年度決算について、期初比較及び変動要因分析、人事・雇用管理
- 6月度 ― 6月20日
人事・雇用管理、施設・設備改修及び更新、苦情解決、障がい者雇用制度改定

- 7月度 — 7月18日
50周年誌制作及び記念行事・式典等、法人合同研修会の開催
- 8月度 — 8月21日
50周年誌制作及び記念式典準備等、人材戦略の検討と具体化
- 9月度 — 9月19日
各事業部の人材戦略、事業部間の連携と協調の促進
最低賃金改定及び労働基準監督署通達事項
- 10月度 — 10月16日
人材戦略の新施策、組織の政治活動
- 11月度 — 11月20日
保育・介護にかかる制度改定への対応、上期業績を踏まえた下期の活動計画、
職員離職対策
- 12月度 — 12月18日
各事業部の中間事業報告に沿った活動状況の検証、設備改修・更新の進捗、感染症対策
- 1月度 — 1月19日
中間事業計画達成状況、人事・雇用管理の現況及び人材戦略の新施策の進捗等
- 2月度 — 2月19日
平成30年度予算策定、平成29年度決算に向けた作業完遂、
50周年に向けた法人及び各施設の行事
- 3月度 — 3月19日
平成30年度事業計画の重要課題と活動計画、
職員体制整備及び離職防止・抑制の具体策

3. 平成29年度における、主な法令及び制度改定などへの対応

- 認定こども園教育保育要領の改訂
改訂内容について職員間の周知を図り、「保一幼一小」の連携強化についてはスタートカリキュラムへの取り組みや行政及び教育機関との実践的な連携を強化している。
- 保育士等処遇改善制度の改定
現行の制度に加え、処遇改善制度Ⅱが平成29年度より新たに実施され、法人の給与体系を維持しながら、可能な限り公平な支給となる様に工夫し、3月に平成29年度分処遇改善手当の一括の支給を行った。
- 介護保険法改正
リハビリテーション活用・拡充、看取り体制の充実、及び地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みが盛り込まれており、実践対応を職員に周知し、新たなサービスの在り方に取り組んでゆく。

4. 平成29年度期初の事業計画の実施、および進捗、成果など

① 教育事業部の業績基盤の立て直し

- 平成30年度の既存2科（児童福祉、介護社会福祉）の入学者数は、厳しい結果に終わったが、大阪府の訓練事業 保育・介護2年コースの獲得、及び社会福祉士通信課程の入学者拡大等により改善を図ってきた。
- 看護学科設立の為に施設建設準備、設備・備品類の調達、及び9名の看護教員の採用、及び大阪府への設立申請に注力してきた。平成31年度開設に向けて周到な準備を行う。
- 平成31年度は、既存2科で合計100名の入学者獲得、及び新設看護学科で入学定員数40名の獲得を目指し、募集活動に注力する。

② 高齢者施設事業部の自立化を促進

- フィオーレ南海、ブルーム北加賀屋ともに期初予算未達に終わった。人手不足、人件費問題なども絡むが、利用者数不足、稼働率の低迷が主因。関係先及び利用者への効果的な広報施策、魅力あるサービス企画の開発・広告とともに、フィオーレ南海では入所待機者の効果的な受け入れにも工夫を要する。

③ 保育、介護分野での人手不足への対策

- 職員の補充採用がいよいよ難しくなり、ハローワークからも、他の人材紹介媒体からも応募が極めて少ない状況。近隣地区への募集を強化し、職員や施設独自の人脈等を駆使した活動も拡げてゆく。養成校からの新卒者を採用して育成してゆく方向も重視する。

④ 職員の育成、専門性と資質の向上を目指す

- 各事業部、及び施設にて、職位別、担当別に積極的な研修を実施してきた。行政機関、社協、各分野の専門機関などの外部研修とともに、それらの情報共有の為に伝達研修、及び職員間の勉強会等の内部研修を含め、複合的、総合的な研修を実施している。

⑤ 計画的な施設・設備改修、備品購入、及び中期的な大改修の検討

- 看護学科設立に伴う支出以外の、老朽化に伴う補修、改修が数多く発生し期初想定を上回った。フィオーレ南海をはじめ、他施設でも、直面する老朽化対応に終始し中期的な大改修については具体的な検討に至らなかった。

⑥ 平成30年度に50周年記念行事を実施予定で、これらの企画、準備を進行する。

- 創立50周年記念誌は、各施設職員による過去資料の収集、整理等の作業により職員手作りの記念誌が製作された。平成30年5月に印刷・製本が完了し、6月から配布する予定。
- 創立50周年記念式典及び祝宴を9月2日（日）に南海福祉専門学校4階講堂にて開催する。外部招待者約70名、職員の約180名、合計約250名の参加を想定しており、永年勤続職員の表彰とともに、各事業部の「あゆみ」の紹介、及び芸芸披露等も職員が企画して実施する。